

令和7年5月19日 第2234回例会

RI第2730地区

宮崎南ロータリークラブ

週報



変化を楽しみ、さらにロータリーの価値を高めよう！

5月の月間
青少年奉仕月間

本日の例会プログラム 第2235回例会令和7年5月26日

・ガバナー補佐報告 戸高勝利ガバナー補佐

出席委員会報告

島田博良委員長

●出席状況

日 状 況	
会員数	58名
本日出席者数	36名
本日欠席者数	22名
出席率	62.07%

前々回修正出席状況	
メイクアップ数	4名
修正出席率	67.24%
メイクアップされた方(敬称略)	
井野元孝洋、寺村明之、平賀義浩	
渡邊友樹	

ニコニコ BOX	1件 累計	5,000円 93,000円
-------------	----------	-------------------

募金箱	5,723円 累計 188,322円
-----	-----------------------

会長挨拶

大迫雅浩会長



皆さん、こんにちは。

まずもって、先週は私の友人ということもあり、ちょっと私的な面もございましたし、且つ会員以外は加できない例会にご家族を参加させていただき皆さまに感謝申し上げます。お蔭様で、ご本人もそしてご家族もとても喜んでお帰りになりました。ロータリーが紡いだ、ロータリアンのご縁ということで、ご容赦いただければと思います。ご協力ありがとうございました。また、昨日、日曜日は延岡で行われた地区研修会にご参加されて方はお疲れ様でした。いよいよ次年度モードですが、今週末は私と大浦幹事で日向東RCの50周年にお礼行脚で行って参ります(笑)

先週末は、三郷町の宇納間さまに行ってきました。このお札のところですよ。

このお札、ご自宅はもとより、宮崎の飲食店の厨房付近によく貼ってありますね。2012年に私の自宅が火事になったこともあり、ちょうど10年ほど前から毎年お参りに行くようになりました。いつも副会長を連れて行くのですが、87歳にして365段の急な階段をいつも上り下りするのは、今年は雨でしたので残念ながらふもとでのお参りでした。

宇納間地蔵尊(菩薩)は今からおよそ1200年前、奈良時代の名僧行基(ぎょうき)菩薩が一刀ごとに三礼をしながら彫刀をふるって彫り上げたことから一刀三礼の菩薩像と伝えられています。また、古くから火伏せ地蔵として人々から崇拝され、地元では「宇納間の地蔵さん」の愛称で親しまれています。宇納間地蔵尊は60年に一度

だけご開帳されて拝観できるそうですが、拝観されたことのある方はいらっしゃいますか？前回は2014年2月だったそうなので、さらに50年後の2074年…多分私も拝観できることは無いかなあと思います。

そもそも、宇納間地蔵尊の由来は、平安朝の末期、天台の僧・正岸僧都(せいがん そうず)が諸国行脚の際、日向路を巡り宇納間村市木の里に梅花山宝蔵寺を建立し、地蔵尊を御本尊として祭られたそうですが、古記録によれば当時の境内は八丁四方(一辺900m)とされており、広くて立派なお堂は美しくかったと想像されるそうです。その後、兵火にかかりお堂は焼失したが、御本尊は山に逃れて安泰であったそうでその後、元禄元年(1688年)元の場所にお堂を再建されたそうです。

それから、百十数年後、徳川第11代将軍家斉(いえなり)の享和2年(1802年)、江戸市中に大火が起こり、延岡藩主内藤政韶(まさつぐ)藩邸も類焼の危機に迫られた際に、剃髪暁山(ていはつぎょうざん)と呼ばれていた前藩主政脩(まさのぶ)公が神仏に祈願されたところ、こつ然と屋根に異僧が現れて雨を降らせ(古記録には「水を注ぐこと大雨の如し」とある)、ついに鎮火して藩邸は類焼を免れたそうです。まさのぶ公は大変喜ばれて、直ぐに異僧の所在を探したが発見する事は出来なかったそうです。その夜、公の夢枕に僧が現れ「我は領内宇納間の市木地蔵なり、切なる祈願により防火したり」と告げられたそうです。公は帰国後、市木地蔵に参拝、

家紋「下り藤」を寺紋として授けられ、文化12年（1815年）秋に地蔵堂を再建し、御供田として1反2畝（せ）28歩を献納された。このことが幕府にも伝わり、徳川の家紋「三葉葵」の使用を許され、天皇家より綸旨下杯（りんじげはい・勅命）を賜ったとのこと。

明治以降、建て替えや火災によりお堂は類焼したため、地蔵尊を今ある一時全長寺に移奉され、全長寺背後の鉄城山上に地蔵堂を建立し御本尊を安置して今日に至っています。全長寺に移奉する以前の地蔵堂は宇納間字八重の市木にあったため「市木地蔵」とも言われているそうです。

なんにもないところですが、徳川家の葵の御紋のある小さなお堂があります。お勧めですのでぜひ足を運んでみられてはいかがでしょうか。

さあ今日は、新しい週のはじまりです！

上機嫌で!!楽しく1週間を過ごしましょう!!!

幹事報告

大浦秀幸幹事



本日の幹事報告は2点ございます。

1. ガバナー月信5月号が届いています。今回には、宮崎県中部グループ・宮崎県南部グループ合同インターシティーミーティングプログラムの活動報告が載っていますので、読みたいかたは事務局までお願いします。

2. 鎌田会員ですが、お仕事が県外が多く参加が難しいとのことで退会届が出てまして、先週の理事会にて承認されましたので、残念ではありますが退会することとなりましたことを報告します。

次年度幹事報告

日高安隆次年度幹事



昨日(5/18)の日曜日、延岡市(野口記念館)で行われた次年度地区研修・協議会に宮崎南RCより9名で参加して参りました。

本年度の笹山ガバナーが見守る中、午前中に西本ガバナーエレクトより、RIメッセージや次年度の方針について、午後は各委員会を部門別に分かれて分科会が開催されました。お忙しい中、ご参加頂きました皆様ありがとうございました。

引き続き田口次年度を支えて、クラブが次の50年に向けて良いスタートが切れますように、ご協

力をお願い致します。

次年度会員名簿作成の為に変更点の確認を頂く用紙を配布させて頂きました。早めの返信をお願い致します。

地区研修協議会について

大迫三郎PG



地区研修協議会には、安川インターアクト地区委員長をはじめ、会長エレクト田口さん。幹事エレクト日高さんなど、精鋭の会員7名から出席され研修されました。

「世界で良いことをしよう」の為に手をつなぐという国際ロータリー会長のメッセージと共に西本ガバナーエレクトの目標として「居心地の良いロータリークラブ」「楽しいロータリークラブ」の為に皆で努力しましょう。特にこの課題を中心に公式訪問はクラブ全員でのディスカッションをしましょう。との事でした。

尚私は、ガバナー指名委員長として、厳しい推薦状況の中で、今回は引き続いて鹿児島県の仙台ロータリークラブ稲留孝男さん60歳を、2024-2025年度のデジグネートに推薦指名決定しました。2025年度7月から2026年度6月と次年度2年間は宮崎県からの選出になります。ご協力よろしく願いいたします。

会員卓話

中川英治会員



アントニ・ガウディ

皆さんこんにちは！

今日は卓話ということで何をお話するかわいろいろ考えましたが、堀内会員から長めに話してくれとのお願いもあり…更に内容を考えてきました。

今日のお話は未完成でありながら世界遺産に登録されているサグラダ・ファミリアの建築家、アントニ・ガウディについてお話させて頂きます。アントニ・ガウディは無名の建築家から世界遺産を7つも残すほどの世界的な建築家まで成り上がりました。

ガウディはサグラダ・ファミリアの専任建築家であるが、パリ万博から5年後の1883年にこの大仕事を請ける事となります。

これは初代建築家が着手した後、依頼主のカトリック教団と大喧嘩し建築の辞任したため2代目の建築家として就任したとのこと。

ガウディは完全にデザインを変更し独自のスタイルを取り入れガウディの作品として確率されて行きました。

着工当時は完成までに300年かかると言われていましたが、現在の完成予定は来年の2026年！

完成時期が早まった理由として、近代のIT技術を駆使し、手探りだった建築方針をクリアにした事と、建築予算が観光客増加により潤沢になった為。サグラダ・ファミリアの建築予算は人々の寄付によって賄われてきた為、それにも大きく左右されています。

因みに…私は未だに独身ですが、ガウディは生涯独身であったとの事です。

何度かの片思いや失恋を繰り返し、女性に興味を無くしたのか服装にも気を使わなくなったみたいです。

ここで、アントニ・ガウディの建築物で世界遺産に登録されている7つの建築物をご紹介します。

1. カサ・ビセンス…タイル製造業者のビセンス氏の別邸ということでタイルをふんだんに使用された建築物です。
2. グエル邸…建築を依頼したグエル氏の執事が、ガウディからの請求額を見てあまりにも高額で驚いたほどらしいです。(総工費いくらかしたんでしょう…)
3. グエル公園…画家であるサルバドール・ダリが「砂糖をまぶしたタルト菓子のように」と評すほど可愛い造りになっています。(グエル公園についてはまた後ほど触れる部分があるので…)
4. カサ・バトリヨ…当時人々はこの建物に「骨の家」、「あくびの家」などのニックネームを付けていました。
5. カサ・ミラ…30代で恋に落ちた相手とした約束「いつか地中海の美しさを建築で表現する」という約束を果たした作品です。(今も昔も人は恋に落ちるんですね…)
6. コロニア・グエル地下礼拝堂…内部のベンチや聖水器など細部までこだわったデザインに仕上がっています。



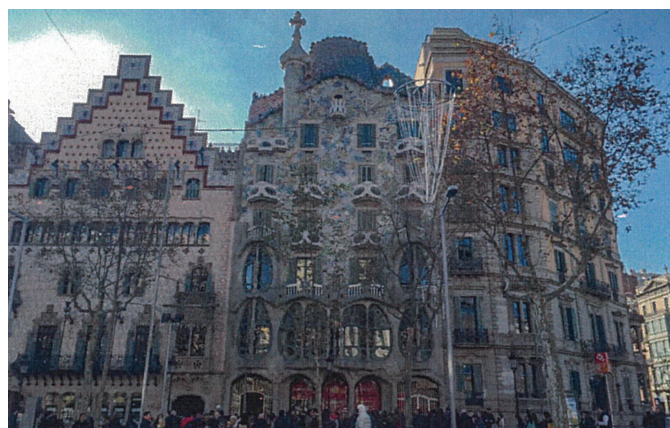
1. カサ・ビセンス



2. グエル邸



3. グエル公園



4. カサ・バトリヨ



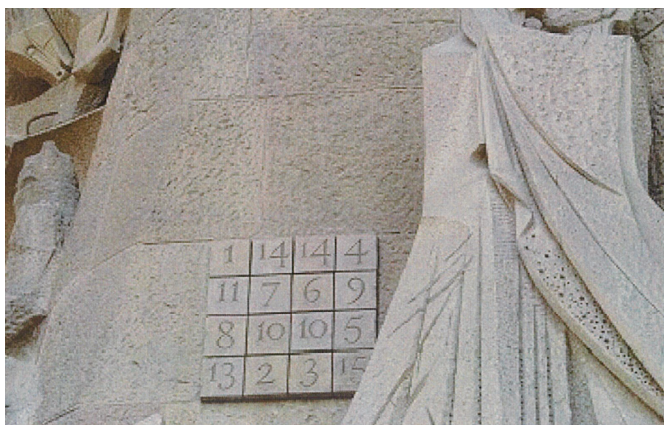
5. カサ・ミラ



6. コロニア・グエル地下礼拝堂



7. サグラダ・ファミリア



ガウディ・コード

7. サグラダ・ファミリア…言わずと知れたガウディが神の建築家と言われた代表作です。

*サグラダ・ファミリアに隠された「ガウディ・コード」

サグラダ・ファミリアの正面の1つ”受難のファサード”には、縦・横・対角線にある4つの数字の和がいずれも33になる魔法陣が埋め込まれています。

*グエル公園見隠された「ガウディ・コード」

グエル公園の階段が33段で形成されている。腰壁の何力所かに逆さ文字で "MARIA" の文字が刻まれている。これは天のマリアから見えるように刻んだとされている。

これらのことは、ガウディが深くカトリック教徒だった事、またキリストが樅になった年齢が33歳であった事などにちなんで設計しているなど、その他にもガウディの出身地であるレウスがフリーメイソンの中心地である事や幼少期の友人やグエル氏がフリーメイソンである事、

フリーメイソンの最高位が33位であることから、ガウディ本人もフリーメイソンだったのではとささやかれている。

1910年～の10年間はガウディにとって厳しいものとなります。

親族、友人、仕事の後継者など身近な人4人を亡くし、1915年の経済危機によりサグラダ・ファミリアの仕事にも打撃を受け、1917年にはコロニア・グエルの仕事の中断など。ガウディは晩年は心を閉ざしサグラダ・ファミリアに完全に身を捧げ以前にも増して作品に身を寄せるようになったと言います。

1926年のある日、毎日のお祈りの為教会に向かっていてところ、路面電車にはねられ意識を失い亡くなっています。

切ない最期を迎えたガウディですが、自分が最期を迎えるまでには7つの世界遺産を観光できるように仕事を頑張りたいと思います。

● 宮崎南ロータリークラブ ●

事務局 〒880-0806 宮崎市広島1丁目3-3秀豊ビル4階
TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-9170
HP : <http://mm-rc.sakura.ne.jp> e-mail : m.m-rc@alto.ocn.ne.jp

例会場宮崎観光ホテル(毎週月曜日12:30~13:30開催)
〒880-8512宮崎市松山1-1-1
TEL.0985-27-1212